

4月の新着本

2026年

4月 11日（土）貸し出し開始

【一般図書】

青い壺	【希望図書】	有吉 佐和子	半世紀前に書かれた小説が、ついに累計60万部を超えました。昭和も令和も変わらぬ人間模様、リアルな生活描写を青い壺が絶妙に映し出す、絶対品質保証のエンタメ作。シングルマザーの苦悩、すれ違う夫婦、相続争いに悩む娘の言葉を聴いてドキリとする親……
イン・ザ・メガチャーチ		朝井 リョウ	ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側——世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。
札幌誕生	【希望図書】	門井 慶喜	幕末から大正にかけて、未知の土地・北海道にわたり、近代都市・札幌を作った、島義勇、内村鑑三、バチラー八重子、有島武郎、岡崎文吉の熱き物語！
カフェーの帰り道	【第174回直木賞受賞作】	嶋津 輝	東京・上野のカフェーで女給として働いた、“百年前のわたしたちの物語”。
失われた貌		櫻田 智也	山奥で、顔を潰され、歯を抜かれ、手首から先を切り落とされた死体が発見された。不審者の目撃情報があるにもかかわらず、警察の対応が不十分だという投書がなされた直後、上層部がピリピリしている最中の出来事だった。
時の家	【第174芥川賞受賞作】	鳥山 まこと	第174回芥川賞&第47回野間文芸新人賞受賞作！ある家に暮らしていた三代の住人たちの存在と記憶、感情がよみがえる。三田文学新人賞でデビューした注目の小説家が傑出した完成度で描く、あたらしい建築文学。
エピクロスの処方箋		夏川 草介	「医療では、人は救えないんだよ」現代医師が描く、人の命と幸福について。2024年本屋大賞第四位&京都本大賞受賞、映画化決定の感動作『スピノザの診察室』続編、ついに刊行！ ※シリーズではありませんが、本作単体としてお楽しみいただけます。
殺し屋の営業術		野宮 有	2026年本屋大賞ノミネート。王様のランチBOOK大賞2025受賞。大大大反響！！大大大重版！！テレビ、新聞、ラジオ、雑誌で話題沸騰！第71回江戸川乱歩賞受賞作 「営業ノルマ」は、2週間で2億円。稼げなければ、全員まとめて地獄行き
叫び	【第174芥川賞受賞作】	畠山 丑雄	聞いて欲しい人が一人おるんです。「政と聖」（まつりごと）を描く芥川賞受賞作。早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学び始める。ここではかつて罌粟栽培と阿片製造が盛んで、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。
家族		葉真中 顕	第174回直木賞候補作 「現実の世界では、すんなり完全犯罪を達成できてしまうこともあるんだって学んだんです」2011年11月3日、裸の女性が交番に駆け込み、「事件」が発覚した。「民事不介入」に潜む欠陥を日本中に突きつけた「尼崎連続変死事件」をモチーフとした、戦慄のクライムエンターテインメント！
暁星		湊 かなえ	【2026年 本屋大賞ノミネート】 「ただ、星を守りたかっただけ——」 現役の文部科学大臣で文壇の大御所作家でもある清水義之が全国高校生総合文化祭の式典の最中、舞台袖が飛び出してきた男に刺されて死亡する事件がおきた。
成瀬は都を駆け抜ける	【希望図書】	宮島 未奈	成瀬シリーズ堂々完結！！ 唯一無二の主人公が、今度は京都を駆け巡る！膳所高校を卒業し、晴れて京大生となった成瀬あかり。一世一代の恋に破れた同級生、「達磨研究会」なる謎のサークル、簿記YouTuber、娘とともに地元テレビの取材を受ける母、憧れの人に一途に恋焦がれる男子大学生……。

PRIZE プライズ	村山 由佳	2026年本屋大賞ノミネート！ダ・ヴィンチBOOK OF THE YEAR2025 小説部門 第1位！ 「どうしても直木賞が欲しい」 賞 (prize) という榮譽を癡猛に追い求める作家・天羽カインの破壊的な情熱が迸る衝撃作！
探偵小石は恋しない	森 バジル	【編集担当からのおすすめ情報】『ノウイットオールあなただけが知っている』で松本清張賞を受賞し話題をさらった新鋭・森バジルさんの、衝撃体験を約束する本格ミステリが誕生しました。
裸足でかけてくおかしな妻さん	吉川 トリコ	お嫁さん養成ギプスなんか噛みきってやる——私たちの奇妙な生活の行き先は 楓はお腹の子の父親である先生と、その妻・野ゆりと暮らし始めるが、先生が姿を消してしまう。

特別配架（文庫・コミック等） ※ 一人一冊ではありません

いのちがけ 加賀百万石の礎 【寄贈図書】	砂原 浩太郎	第2回「決戦！小説大賞」受賞！ デビュー作にして、珠玉。戦国は今、新たな語り部を得た！加賀百万石の始祖、前田利家。その若き浪々の日々も、大大名となった後も、常に付き従い、幾度も主君の危機を救った家臣がいた。
銀二貫 【寄贈図書】	高田 郁	大阪天満の寒天問屋「井川屋」店主の和助は、天満宮再建のために寄進するはずだった銀二貫で仇討ちを買い、ひとりの少年の命を救う。 難儀に耐え、慎ましく生きる市井のひとびとの間を、銀二貫が巡り巡って幸福へと導いていく。
八朔の雪 みをつくし料理帖 【寄贈図書】	高田 郁	神田御台所町で江戸の人々には馴染みの薄い上方料理を出す「つる家」。 料理だけが自分の仕合わせへの道筋と定めた濡の奮闘と、それを囲む人々の人情が織りなす、連作時代小説の傑作ここに誕生！
眠れない夜のために 【寄贈図書】	千早 茜	直木賞作家・千早茜が紡ぐ、10の夜の物語。 人気イラストレーター・西淑による美しい挿絵とともに味わう、「眠れない夜」をテーマにした短編集。
遠い悔恨 単眼児は見ていた 【寄贈図書】	水野 忠興	著者は、ながく医療の第一線に立ってきました。今作品は、医学ミステリーであり、ホラー小説の要素もあり、また、『楡家の人びと』を想起させる純文学の風格あり。複合体にして多面的な作品世界です。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、6月新着本は（6月13日）から貸出いたします。